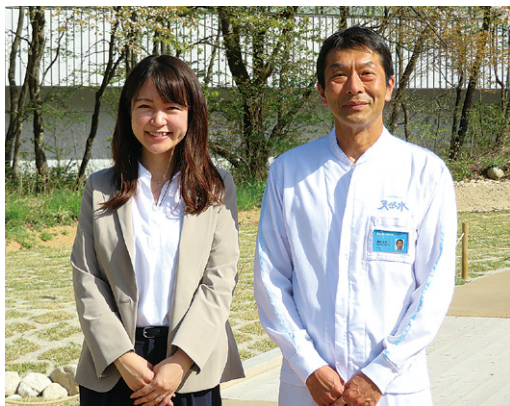


サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場

現地
レポ



右から澤田工場長、平川氏



できたての「天然水」

「緑の散歩道」を経て向かい、「青のトンネル」は、非日常への入り口を表現。木造設計のレセプションスペース「天然水ハウス」では、水の循環を学べる模型を設置し、オリジナルグッズを販売している。

また、屋外の開放的な「みずのわ広場」に



リサイクルポスト

「澤田工場長「次世代工場のあるべき姿」見学にはファミリー層の参加を想定。コロナ禍の落ち着き次第では小学校

のバックボーンである自然を活用した設計であることを強調。

「サントリー食品イン

という自然の恵みなしには成り立たないことを伝える、次世代環境教育のお手伝いもしたい。ブラン

工場へ」

「自然を楽しむながら見学コースは、駐車場から既に始まっている。工場へは「乳川テラス」

をラインアップ。地元・信州産の食材も使う。工場と一体化した見学スペースは、充填や出荷などの製造工程はもちろん、「シアタールーム」、ジオラマなどの「ものづ

一般見学解禁、ブランド体験で地域活性化

生産拠点にとどまらない「ブランド体験型施設」と一体化した工場として注目されていたが、コロナ禍で一般見学は延期していた。

「タナシヨナルブランド開発事業部の平川澄彦氏は、「天然水」が水源と

ド価値の向上にも繋がる」と確信している」と説明した。

は「みずのわカフェ」があり、「天然水」を使ったドリンク、かき氷など

は「みずのわカフェ」があり、「天然水」を使ったドリンク、かき氷など

どもにもわかりやすく、前述の通り、子どもたちへの環境教育も組み込む。CO₂排出実質ゼロの環境配慮型設計で、バイオマスボイラーの導入、電子線殺菌による製造に使用する水の削減、工場周辺の森林を保全する水源涵養活動など多彩に取り組んでいるが、最も分かりやすいのは「リサイクルポスト」。

【サントリー天然水北アルプス信濃の森工場】所在地＝〒398-0000 長野県大町市常盤8071-1 ▽取得面積＝約41万㎡ ▽建築面積＝2万6457㎡(延床面積4万760㎡) ▽事業内容＝「天然水」550ml・2ℓPETの製造、保管、配送 ▽生産能力＝年間1500万箱 ▽投資額＝240億円 ▽従業員数＝50名

「長野」サントリー食品インターナショナルは、2021年5月に稼働した長野県大町市の「サントリー天然水北アルプス信濃の森工場」の一般見学を14日に始める。

4月25日の現地会見では、サントリープロダクツ執行役員の澤田元充同工場工場長が、「サントリーグループ内では初、業界内でもかなり珍しい取り組みだが、地域社会に貢献できる、次世代工場のあるべき姿だと思っている」と意気込み、ミナラルウォーター製造に欠かせない「水源」、そ



天然水ハウス



みずのわ広場

くりアーケード」で水源への理解を深めることができる。

見学をひと通り終えた後は、「アルプステラス」で餓鬼岳を眺めながらできたての「天然水」を試飲し(授乳室も完備)、ネーム入りオリジナルボトルを受け取れる。

「環境の大切さ、子どもにもわかりやすく」

前述の通り、子どもたちへの環境教育も組み込む。CO₂排出実質ゼロの環境配慮型設計で、バイオマスボイラーの導入、電子線殺菌による製造に使用する水の削減、工場周辺の森林を保全する水源涵養活動など多彩に取り組んでいるが、最も分かりやすいのは「リサイクルポスト」。

【サントリー天然水北アルプス信濃の森工場】所在地＝〒398-0000 長野県大町市常盤8071-1 ▽取得面積＝約41万㎡ ▽建築面積＝2万6457㎡(延床面積4万760㎡) ▽事業内容＝「天然水」550ml・2ℓPETの製造、保管、配送 ▽生産能力＝年間1500万箱 ▽投資額＝240億円 ▽従業員数＝50名